

飼ってる人も  
まだの人も

# 知っておきたい 最新事情

今いちばん人気のあるペットは？  
ペットにとって本当によいフードって？  
東日本大震災で被災したペットの今は？  
ペットを飼っている人はもちろん、  
これから飼うことを考えている人も  
必見の最新トピックスを紹介。

## ドラマの影響で

### あの犬が人気急上昇

都内最大級の店舗数を誇るペットショップのコジマによると、人気の犬ベスト3は1位トイプードル、2位ミックス犬、3位チワワ。ランク外だが、大人気ドラマ『マルモのおきて』の影響でミニチュアシユナウザーの人気が急上昇しているそう。また、猫のベスト3は、1位アメリカンショートヘア、2位スコティッシュフォールド、3位ロシアンブルー。注目株は、短足でよちよち歩く姿が愛らしいマンチカン。犬と猫以外で注目はウサギの人気。今年の干支がウサギ年ということもあって、昨年末から飼う人が増えているという。そのほか、ハムスターより小さいフクロモモンガや小さなサル、コモンマーモセットなど、個性派動物もじわじわ人気を集めているそう。



ロップイヤー

今年はさらに人気アップのウサギ。中でも折れた耳が愛らしいロップイヤーに、ペットウサギの中でもっとも小さいネザールランドドワーフなど、小型が主流。



ネザールランドドワーフラビット

## FRAU 掲載箇所

## ペット界にも浸透する

### オーガニックブーム

人間のエコ・ロハスブームののって3~4年前から流行りはじめたオーガニックのペットフード。オーガニックとひとことで言っても、何を基準に選んでいいのかわからないというのが本音。ペットフードアドバイザー講座を開設する日本動物医療コンシェルジュ協会のノブ動物病院看護士、小笠原愛さんに聞いた。「人間のものより表示基準が甘いペットフードは、商品によって表示がばらばら。国によっても成分基準が大きく異なります。その中でペット先進国であるアメリカの「AAFCO(米国飼料検査官協会)」が世界基準的存在になっていて、「AAFCO認定」と明記されているものを目安に選ぶのは有効です。認定商品でなくても、パッケージの裏にある原材料表示を見ることは大切。発がん性物質を含むといわれる人工着色料を使用しているものは避けるべき。最近ではフードを手作りする人も増えているが、これも注意が必要。「手作りでは100%栄養素を満たすことができません。特に成長期は注意。基本的にはペットフードにプラスする感覚がおすすめです」

人が口にできる素材のみを使用した(スーパープレミアム)キャットフード「アーテミスフレッシュミックス」。



DCG GOLD JAPAN  
0120-183-886

## 被災地のペットたちの、 ラビ救援活動

3月11日に発生した東日本大震災。それは、人間だけでなく、犬や猫などの動物たちにも大きな被害をもたらした。あれから半年。被災地の動物たちの現状はどうなっているのだろうか。天災・人災など不測の緊急災害において被災した動物の救援活動を行う「どうぶつ救援本部」によると、宮城や岩手における被災動物の救護と支援物資の発送等はひとまず落ち着いたという。それに対して、まったく落ち着いたかないのが、原発事故の被害を受ける福島だ。8月までに実施された福島原発20km圏内の一時帰宅の際にも「どうぶつ救援本部」のスタッフが活動。飼い主にそれぞれの飼育動物を繋ぐか、ケージに入れておいてもらうようお願いし、その後、立ち入り許可を得ている担当者が、飼い主に聞いた場所に向かい、動物を収容。収容した動物を中継基地にて除染し、飼い主が引き取れる場合は飼い主に、仮設住宅の事情等で無理な場合はシェルターで預かったという。簡単には収束しそうでない福島の状況に今後も注目していきたい。



各地の行政や獣医師会等と連携を取りながら救援活動を行い、支援物資や義援金などを提供している「どうぶつ救援本部(正式名称:緊急災害時動物救援本部)」。HPには詳しい活動報告や寄付・支援の募集要項などが紹介されている。http://doubutsukyuen.org/

サルやモモンガといった個性派動物を飼う人も増えているそう。リスザルよりも小さいコモンマーモセットや、ゴールデンハムスターより小さいフクロモモンガなど、どれもミニサイズで飼いやすいのがポイント。愛嬌のある顔が最高。



コモンマーモセット

ドラマ『マルモ』のムック役を集めたミニチュナウザー。立ヒゲとふさふさヤムポイント



フクロモモンガ



ミニチュアシユナウザー



マンチカン

メディアでも取り上げられ、人気上昇しているマンチカン。短い足でよちよちと一生懸命歩く姿の愛くるしさに、心奪われる人続出。

不妊手術をしないまま飼いとで産まれる「望まれないうずつと変わらない問題(引越越しによる飼育継続、離婚等の家庭不和、多頭壊、飼育放棄、虐待など)り出す状況によって、年間25万頭以上の犬猫たちなどの行政機関で殺処分。そんな犬と猫を一人頭救うため、保護・飼育し、飼い主=里親を探す活動している団体がある。里親のメリットは、殺処分がなかった「ひとつの命」を救うこと。また、団体によリアルで飼えるので、もちろん、家ですでに飼つととの相性を見ること、新しい家族に出会う選択覚えておきたい。



13年来、保健所など行政機関からのみ犬猫を引き取り、年間1200頭の命を救ってきた「NPO法人 犬と猫のためのライフポート」。千葉県柏市にあるアニマルシェルターのほか、東京・神奈川・埼玉で譲渡会を開催。支援物資、支援金も常時募集。www.lifeboatjapan.org

大阪に本部がある「アーク(NPO法人 アニマルフュージョン関西)」。犬猫の保護と世話を行い、里親を見つける活動や動物の権利を守るための活動を行う。2週間のトライアル飼育が可能(東京のみ実施)。また、里親が決まるまでの犬猫の一時預かりも募集。www.arkbark.net



## 大切な家族を迎える、 里親になるとい